

申込書類の作成方法 (記入例)

第〇〇回 土壤環境監理士 資格認定試験 受験願書

受験番号 ※ ※欄には記入しないで下さい。					
一般社団法人 土壤環境センター 会長 殿			〇〇〇〇年 〇月 〇〇日		
私は、土壤環境監理士資格認定試験への受験を希望し、関係書類・受講料を添えて申し込みます。 私は、この受験願書の記載事項が事実と相違がある場合には合格を取消されても異存なきことを誓約します。					
フリガナ	姓	名	印	生年月日(西暦)	性別
	ドジョウ	タロウ		1970年2月14日	<input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女
氏名(楷書)	土壤 太郎				
受験資格	資格名称		登録番号	登録年月日(西暦)	
	技術管理者		第〇〇〇〇号	2013年3月24日	
現住所(連絡先)	フリガナ	トウキョウトミナトクシバ			
		東京都港区芝4丁目4番5号			
	フリガナ	カンキョウマンション			
		環境マンションA棟701号室			
	〒	180-0014	TEL FAX	03-1234-5678 03-1234-5679	
勤務先	フリガナ	ドジョウカンキョウカブシカイシャ			
	名称	土壤環境株式会社			
	支店等	東京支店			
	部・課(科)	環境部 土壤環境課			
勤務先所在地	フリガナ	トウキョウトチヨダクコウジマチ			
		東京都千代田区麴町4丁目5番			
	フリガナ	ケイエスビル			
		KSビル3階			
	〒	102-0083	TEL FAX	03-5215-5955 03-5215-5954	

○記入した時の年月日を記入して下さい。

○郵便番号、アパート名、団地名、棟番号、同居先まで正確に記入して下さい。

○受験資格
・資格名称
・登録番号
・登録日
を記入して下さい。

○勤務先は、現在自分の所属している部課名まで記入して下さい。

- 受験申し込み6ヶ月以内に写した写真を用いて下さい。不鮮明なもの（スナップ写真等）及びサングラスをかけたものは使用できません。なお、写真の裏側に氏名、生年月日を記入し、はがれないよう全面に糊づけして下さい。
- 撮影年月を記入して下さい。

**第〇〇回 土壤環境監理士 資格認定試験
写 真 票**

1. 写真は正真正の顔写真で6ヶ月以内撮影の鮮明なもの
2. 大きさは縦4cm横3cm特なし
3. 写真裏面に氏名・生年月日を記入し、全面糊で貼り付け
撮影●●年●●月

受験番号 ※

※欄には記入しないで下さい。

フリガナ	ドジョウ タロウ	性別
氏 名	土 塚 太 郎	男・女

(きりはなしてはいけません)

**第〇〇回 土壤環境監理士 資格認定試験
銀行振込票貼付票（受験料）**

氏 名	土 塚 太 郎
受験番号 <small>※</small>	

※欄には記入しないで下さい。

糊 づ け

●●銀行

- 必ず個人別に振り込み、「振込金受取書（兼手数料受取書）」、または、ATMでの「ご利用控」のコピーを糊づけして下さい。
- 依頼人（振込人）欄には必ず受験者の氏名を記入して下さい。

○この用紙で書ききれないときは、この様式を複写し、記入して下さい。その場合、別紙にも証明者の印が必要になります。

業務経歴書

記入例

土壤・地下水汚染に係る業務経歴期間が3年以上であることを記入して下さい。

経歴番号	業務経歴	在籍期間 (西暦)	左の在籍期間の内、 土壤・地下水汚染に係る業務期間
①	所属 ○○環境(株) 環境部	2005年4月 \$ 2006年3月	1年0月
	経歴 土壤汚染の対策工事環境関連業務全般		
②	所属 △△調査(株) 工務部	2006年4月 \$ 2007年9月	1年6月
	経歴 環境保全対策工事の現場管理		
③	所属 △△コンサルタント(株) 研究部	2007年10月 \$ 2007年12月	年 3月
	経歴 環境対策・応用技術の開発を担当		
④	所属 △△建設(株) 工務部	2008年1月 \$ 2008年6月	年 6月
	経歴 環境対策工事の施工管理		
⑤	所属 同上 環境部	2008年7月 \$ 2009年9月	1年3月
	経歴 環境対策・応用技術の開発を担当		
⑥	所属	年 月 \$ 年 月	年 月
	経歴		
		記入期間合計	4年6月

○記入期間合計には記入した実施期間の合計年月を記入して下さい。

証明書

〇〇〇〇年 〇月 〇〇日

受験者 土壤 太郎 の業務経歴は上記に間違いのないことを証明します。

会社名 土壤汚染 株式会社
 役職 代表取締役
 氏名 土壤 花子

捺印

印

○記入した時の年月日を記入して下さい。

○受験者の氏名を記入して下さい。

○勤務先等の証明権限を有する役職者から証明(公印)を受けて下さい。証明権限を有する役職者は、一般企業では代表権を有する者又は証明権を委譲された者、官公庁では局長、部長、所長等です。
 現在、勤務していない場合は、最終勤務先の事業主等の記名・捺印をもらって下さい。
 なお、経歴書を複写して使用した場合は、複写した経歴書にも記名・捺印が必要です。

○土壌環境監理士に必要な技術・知識は「受験の手引」に記載されている通りです。それを踏まえて、あなたの土壌・地下水汚染調査・対策に係る主要な実務経験を3つまで挙げて、業務の期間と概要、あなたの立場・役割を述べると共に、その業務であなたに求められた主な知識・技術について、下の<土壌環境監理士に必要な知識・技術>から該当するものを選んでください(複数選択可)。

○業務経験書は、面接時の評価対象となりますので、明瞭に記載して下さい。

業務経験書 (3つまで) 記入例

業務番号	実務内容	
①	業務期間(西暦)	〇〇〇〇年 〇〇月 ~ 〇〇〇〇年 〇〇月
	業務の概要	【記入例】 〇〇工場の閉鎖に伴う県条例の調査で、〇〇ならびに△△調査を実施した。調査対象物質は●●で、〇×△が基準を超過したため、深度方向調査を計画して実施し、汚染範囲を特定した。
	あなたの立場・役割	〇〇では、△△△という立場で、〇×△業務を行った。△△調査と深度方向調査は、△△△という立場で、〇×△業務を行った。工夫した点は、・・・
	本業務で主に求められた<土壌環境監理士に必要な知識・技術>(複数選択可) <div style="text-align: center;"> 安全 法律 環境保全 調査 対策 コミュニケーション </div>	
②	業務期間(西暦)	〇〇〇〇年 〇〇月 ~ 〇〇〇〇年 〇〇月
	業務の概要	〇〇〇〇.....
	あなたの立場・役割	△△△.....
	本業務で主に求められた<土壌環境監理士に必要な知識・技術>(複数選択可) <div style="text-align: center;"> 安全 法律 環境保全 調査 対策 コミュニケーション </div>	
③	業務期間(西暦)	〇〇〇〇年 〇〇月 ~ 〇〇〇〇年 〇〇月
	業務の概要	×××.....
	あなたの立場・役割	□□□□.....
	本業務で主に求められた<土壌環境監理士に必要な知識・技術>(複数選択可) <div style="text-align: center;"> 安全 法律 環境保全 調査 対策 コミュニケーション </div>	
〇〇〇〇年 〇月 〇〇日 上記のとおり相違ありません。		
本人氏名 <u> 土 塚 太 郎 </u> (自署)		

○受験者が経験された業務の中で、土壌環境監理士としてふさわしいと思われる業務の技術的概要について具体的にお書き下さい。なお、発注者・サイト名称など固有情報はご記入いただく必要はありません。

○上記の業務において受験者が、担当された内容、果たした役割、および、苦労や工夫された点についてご記入ください。

○あてはまるものに○印を付けて下さい。

○記入した時の年月日を記入して下さい。

○受験者本人が記名して下さい。